



【中学部 施設・職場見学】

7月5日(火)、中学部施設・職場見学を実施しました。A・Bグループの2つに分かれて、それぞれで見学に行ってきました。Aグループは「栄幸園」「サポートセンターステラ」、Bグループは「REPLAY」「太陽ファーム」「Wake Arena」にお世話になり、コロナ禍ではありましたが感染対策をして、行ってきました。

「高等部を卒業したら、どんな仕事をしたいか？どんな生活をしたいか？を考えてみよう」と事前学習で確認し、見学先の施設の事を調べたり、仕事をする事について質問を考えたりしました。当日は、久しぶりの学部全体でのお出かけとなり、ウキウキワクワクしながらも、少し緊張した様子で施設を訪問しました。施設の快諾の下、作業体験もさせていただきながら、働くために必要な事について質問をして、充実した時間を過ごすことができました。学校に帰ってきてからは、働くために大切な力についてまとめ、「あいさつ 時間を守る きちんと伝える 人の話を素直に聞く」を今後の学校生活で意識してできるようにしようとなりました。また、卒業後の「生活・仕事」について一層深く考えるようになりました。



6月30日 事前学習
REPLAY、WakeArena の方の講話

<栄幸園>
個別課題の体験



<サポートセンター
ステラ>
箸の袋詰め作業体験



<太陽ファーム>
ハウスの見学と花の選定
作業の体験



↑銅線むきの体験
<REPLAY>
↓小豆の仕分け体験



<WakeArena>
施設の概要説明
ところてんカップのシール貼り



シリーズ 「合から取り組もう③」

今回は、アンケートでいただいた「日常生活で気をつけていること」についてお話します。

<Q4 アンケート結果>

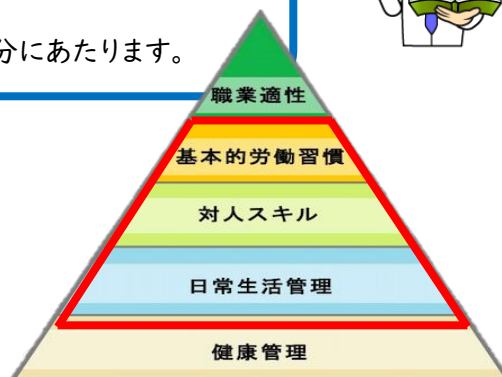
日常生活について質問です。卒業後の生活をイメージして、日常生活で気をつけていることや、頑張らせていることなどはありますか。

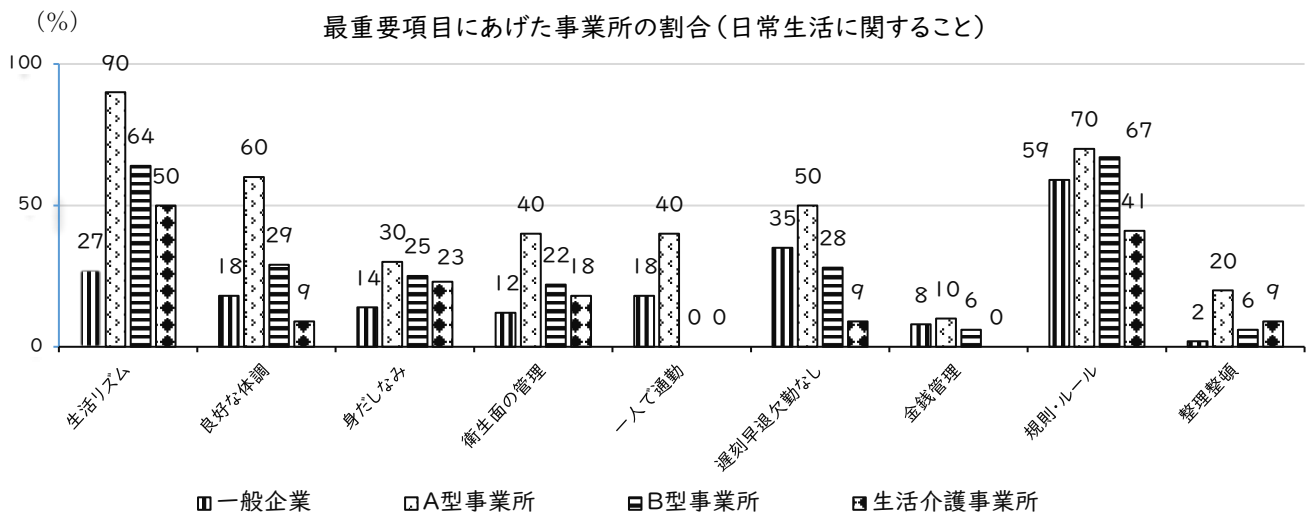
学部	いただいた回答 ※似たような回答はまとめて表示しています。	
小学部	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉、挨拶、着替えなど身の事 ・「自分で出来る事は自分でやる」 ・やる気がある時にお手伝い ・健康に育つようにしている ・好きな物(事)を見つける ・登校前、下校後の流れを決めている 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物の練習 ・一人でできることを増やす ・良いこと悪いことをきちんと教える ・分からないことは聞いてと教えている ・早寝早起き等の生活リズム ・過剰なスキンシップに気をつけている
中学部	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で決める事 ・規則正しい生活リズム ・時間やお金の計算 ・ソーシャルスキル ・自分からの挨拶 ・バランスの良い食事 ・洗濯 	<ul style="list-style-type: none"> ・身辺処理を一人で行う ・余暇の過ごし方 ・朝の流れ(歯磨き、ご飯、トイレ等) ・当たり前な事を当たり前でできる ・言葉遣い ・私物の片付け ・お手伝い(ご飯の準備等)
高等部	<ul style="list-style-type: none"> ・集中力を高める、続ける ・体力作り(30分ぐらいの散歩) ・自分の事は自分でやらせる ・ひげそり ・人に伝える事 ・規則正しい生活リズム ・部屋の整理整頓 ・学園での過ごし方 ・グループホームでの過ごし方 	<ul style="list-style-type: none"> ・家と外のケジメの付け方 ・食事の片付け、掃除 ・お手伝い(米とき) ・自分の身辺処理 ・一人で生活をしていくためのスキル ・洗濯機の使い方 ・夜更かしをしない ・挨拶ができる ・ゴミ捨てや畑仕事

小学部では、日常生活の面で頑張らせているといった回答が多かったです。
 中学部では、身辺処理を一人で行うことや挨拶等の対人面をしっかりとできるように頑張らせているといった回答が多かったです。
 高等部では、実習をやって出てきた課題や、卒業後の生活面を想像して頑張らせているといった回答が多かったですね。
 これらは、(右下図)職業準備性ピラミッドの赤で囲まれた部分にあたります。



次のページに示すのは、県内の特別支援学校で、子どもたちの進路先となる各事業所(一般企業、A型事業所、B型事業所、生活介護事業所)に「卒業するまでに付けておいてほしい力」についてのアンケートを実施したものです。その結果を見ると、事業所によって「求める力」がそれぞれ異なっているようです。





このアンケート結果で回答の割合が高かった項目に注目してみました。

事業所が考えている日常生活で気をつけてほしいこと	
一般企業	<p>「遅刻早退欠勤なし」「規則・ルール」</p> <p>「遅刻早退や欠勤」をしないためには、生活リズムを整えておく必要があります。また、企業では、社会や会社の規則やルールを守ることも必要とされます。</p>
A型事業所	<p>「生活リズム」「良好な体調」「身だしなみ」「衛生面の管理」「一人で通勤」「遅刻早退欠勤なし」「規則・ルール」</p> <p>一般企業から求められる力の他に、衛生面や身だしなみを自分から整えることも求められます。これは、一般企業で求められない力ではなく、入社時にすでにできていると見なされていると考えられます。また、「一人で通勤」の項目も高く、時計の見方や、金銭の管理等を含め、在学時に学んでおくことが多いようです。</p>
B型事業所	<p>「生活リズム」「規則・ルール」</p> <p>規則正しい生活リズムを確立して、まずは決められた日数を通勤して作業することが求められています。また、事業所内での規則やルールを守り、他の利用者と仲良く過ごしてもらいたいとの希望があるようです。</p>
生活介護事業所	<p>「生活リズム」「規則・ルール」</p> <p>生活介護の場合、体調管理の側面からも生活リズムを整えることが求められます。また、メリハリのある活動をして、余暇と活動の切り替えをしっかりとできるようにしてほしいという考えから、ルールを守るようになってほしいようです。</p>



ほとんどの事業所で、「生活リズム」「規則・ルール」の項目が高い割合を占めていました。社会人として、毎日同じ時間に起床・就寝をして、しっかりと食事(暴飲暴食を避け)を摂り、リズムの良い生活を送ることが必要です。また、社会の規則やルールを確実に守ることができることが大切ようです。夏休みも終わり、普段の学校生活が始まりました。規則正しい生活リズムと、規則やルールを守るよう、学校と家庭が協力して取り組んでいくことが重要です。

現在、各家庭で取り組んでいることが、卒業後の生活にしっかりつながっていることが分かりますね。今の取組を大切にしながら、一つずつできることを増やし、卒業後を見据えてステップアップしていきましょう。



「親なきあと」を考える・・・

保護者のみなさんにとって、「親なきあと」は共通の、そして永遠の課題ではないでしょうか。多くの保護者のみなさんは、「親なきあと」について、漠然とした不安を抱えていることと思います。自分たちがいなくなったあと、子どもはどんな生活をするのだろうか？お金は足りるのだろうか？体調を崩したら、誰がめんどうを見てくれるのか？悪い人にだまされたりはしないだろうか・・・。

しかし、その悩みを解決するためには何をしたらいいのか、具体的にイメージしづらいのではないのでしょうか。自分たちがいなくなった、あるいは面倒をみられなくなったあとのことなので、どんな準備をしたらいいのかが分からず、モヤモヤとした不安を募らせているのが、多くの保護者のみなさんの現状だと思います。以前、ある保護者の方は、「自分たちが死ぬときには、子どもを道連れにして死ぬ！」なんて冗談っぽくおっしゃいましたが、その根底にはどうしたらいいか分からない不安がいっぱいだったのだと感じています。

「親なき」と言いますが、亡くなったときだけではなくありません。年をとって、子どもたちの支援をすることが辛くなってきたときには「親（からの支援）なき」状態となります。それは、50年後かもしれないし、40年後、30年後かもしれません。ある日、急に病に倒れるということもあるので、もしかしたら明日！！という場合もあるでしょう。

「親なきあと」の悩みといっても、具体的に何に悩んでいるのかと聞かれると、答えるのは難しいのではないのでしょうか。

自分の親が高齢になったり、認知症になったりしたときのことは、ある程度予測がしやすいかと思います。在宅が難しくなったら住むところはどうするのか、また、どのような福祉サービスがあるのかなどは、イメージしやすいところがあります。

ところが、我が子のことになると、自分たちがいなくなったあと、誰に、何を、どこまで頼めばいいのかが分からない、自分が元気なうちに、どこまでの手配をしておけばいいのかが予測できないので、漠然とした不安になってくるのではないかと思います。

不安の中身を整理すると、大きく3つの課題に集約されます。

- ① お金で困らないための準備をどうするのか。
- ② 生活の場はどのように確保するのか。
- ③ 日常生活で困ったときのフォローをどうするか。

そして、それぞれの課題について、利用できる行政の福祉サービスがあり、民間の法人などが提供しているサービスがあり、また地域独自の取り組みがあるようです。

ぜひ、「親あるあいだ」に具体的にどんなことに取り組んでいけばいいのか、将来必要になってくることをしっかりと把握して、先を見据えた心の準備をしておきたいですね。

次回は、「親なきあと」の課題についてお話します。

